

ST250F/NEO STANDARD
VTR250 Racer Moto-GP Challenge Report



■はじめに

10月2-3日、ツインリンク茂木で開催された、FIM Moto-GP 日本グランプリの招待レース※1に参戦してきました。レース当日は電話でたくさんのご声援をいただき、誠にありがとうございました。今回の参戦につきましては、皆様のご協力ならびにサポート、誠にありがとうございます。今後共、皆様からの変わらぬサポートをお願いいたします。度、何卒宜しくお願いします。

※1. Moto-GP 日本GP内で、日本で開催している2気筒250ccクラスのレースを、国内外に情報発信するための位置づけ

■概要

レース MotoGP 日本グランプリ 承認レース ネオスタンダード（出走37台）

場所 ツインリンク 茂木 国際レーシングコース

日時 10月2日（金）公式車検、公式練習（天候 曇り 路面温度 21度）

10月3日（土）決勝 6周（天候 晴れ 路面温度 29度）

体制 VTR250（SUZUKA R&Dパッケージ車両）2台

ライダー #59 OHTA / #94 HAMADA

目的 商品広告宣伝・アピール・競合他社調査に加え、下記個人目標を設定。

#59 レース初心者の世界GPでデビュー

#94 目指せ表彰台

■車両仕様

外装 SUZUKA R&D製

フロントサス&リヤサス SUZUKA R&D製

ステップ SUZUKA R&D製

マフラー SUZUKA R&D+オーテック鈴鹿共同開発

プロテクティブコーン SUZUKA R&D製

ハンドル SUZUKA R&D製

オイル SUZUKA R&D+スピードハート共同開発

サブコン DYNOJET改

タイヤ DL α12

■結果

#94 総合13位（VTRクラス5位 ベストタイム 2分32秒 4周目）

#59 総合34位（VTRクラス15位 ベストタイム 2分40秒 2周目）

■取材対応

・モーターサイクル専門誌 1社

八重洲出版社 モーターサイクリスト誌

■車両評価

本田技研、HRC、モーターサイクリスト誌、TMSC 各位に、実車を見ながら、様々なお褒めの言葉と、コメントをいただきました。他にも、多くの一般の参加者・ライダーの皆様にもお言葉いただいておりますが、割愛させていただきます。

- ・ デザインが大変よい。これはユーザーにとって、大変重要。
- ・ 空力や車両バランスも良いと考える。
- ・ CBR系を参考にディメンジョンを組んであるとのこと、シート高は絶妙。ポジションの作りこみから、全てにおいて、良くできている。
- ・ 鈴鹿のレースもこの車両で盛り上げて欲しい
- ・ ハンドルパイプはすぐにもでも量産してほしい。
- ・ パッケージングが良い。また、オリジナルオイルまで開発する等、目を見張る内容である。
- ・ コストと品質のバランス感が良い。所有感がある。

■その他

公式練習・決勝で入手した、他車仕様・動力性能比較は直接 SUZUKA R&D までお問合せ願います。

■Moto-GP ネオスタ レースレポート

Moto-GP承認レースであるネオスタンダード（37台フルグリッド 2クラス混走）に、CBRオーナーズクラブ with SUZUKA R&D レーシングチームは2台体制で臨みました。金曜の予選は、タイムスケジュールのからみで、予想外の抽選方式。28番と36番／37台中のグリッド・・・という最悪の位置からのスタート。前日夜から移動したライダーには酷な予選ですが、仕方ありません。気を取り直して、ピットに車両を下ろして整備と車検を受けます。

同日の公式練習では、曇り空の中16時スタートということで、路面温度も21度に下がった状態。2台とも勢い良くコースに出たものの、初めての茂木コースの攻略に苦しみ、かつオイルも出て、すべりやすい路面にてこずり※ 限られた走行時間でなかなかリズム良く走れないまま終了。各人とも、走行後のセッティング出しと、イメージトレーニングで走行時間を補填するという、厳しい状況となりました。 ※茂木は雨天の翌日、ドライでもコース上湧き水が出てウェットスポットがある
金曜も夜遅くまで車両を整備し、翌日の決勝レースに備えます。

決勝当日は、昨日とうってかわって快晴。125ccクラス、MOTOクラス、MOTO2クラスと予選が進んでいきます。メインイベントのMotoクラスにあわせて、前座のレースとはいえ4万人の観客でスタンドが埋まり俄然気持ち盛り上がってきます。（全日本ロードレースより観客が多い・・・）MOTO2クラス予選終了後、ついにネオスタ決勝レースの時間。東コースから隊列を組んでコースインし、Moto-GPと同じグリッドにつきました。ウォームアップランの後、レッドシグナル点灯、エンジン回転を8000rpmでキープし、シグナル消灯！（スタート）。今回集まった37台は、関東系の有力チームが多数出場しており、特に上位陣は強豪者揃い。鈴鹿からは、弊チーム含め4台が出場。今回我々のチームでは、レースの趣旨を尊重し、初心者ライダーとジュニアライダーを乗車させてレースに臨みました。

2台とも抜群のスタートをきり、オープニングラップで#59が20位、#94が18位と大幅に上げ、#59は2周め終わりにはクラス8位まで上昇しましたが、最終的には13位でチェッカー、#94は周回毎に着実にポジションを上げ、クラス5位となりました。どちらか1台は表彰台を狙っていただけに、残念な結果となりましたが、約30分のレ

ースを、各人がベストラップを每周更新し、心地良いテンションで楽しみました。

最後に参加者全員でMoto-GP表彰台で記念撮影できたのも、大変思い出に残るシーン。このような場を提供していただいた、FIM、MFJ、ツインリンク茂木各位には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

≫ジュニアライダー（14歳）コメント

初めてのコース、Moto-GPという大舞台、大変緊張する場面でしたが、戦闘力があり大変乗りやすい車両性格で、余裕をもってライディングに集中できました。何とか表彰台に登りたかったのですが、予選くじ運のなさ、スプロケ比がまったくあってなくて何とかクラス5位をゲットしました。毎週ベストタイムを更新できましたし、また機会があれば、茂木のレースに出場し優勝を勝ち取りたいです。この車両で技術を磨き、ST600へステップアップし、いつかはMOTO2レースに出場したい！

≫初心者ライダーコメント（35歳）

昨年ミニモトでレースデビューし、今年から初めて17インチでレース始めた初心者ライダーです。初めてのコースで自分でも驚きましたが、楽しめてレースができたのも、SUZUKA R&D製のマシンの懐の広さのおかげです。スポーツライドするのに自然なポジションで、本当に乗りやすく、癖が無いハンドリングで、初めてのコースを、自分なりに自由自在に走ることができました。この車両で楽しみながらレースを続けていきたいと思えます。

Photo

Moto-GP 主催側から、ボルトの緩みや油漏れ、トラブルによる停止が発生しないように、万全の状態にレースに臨むことを求められ、夜遅くまで整備を行った。

